

県民のヘルスリテラシー向上支援事業（県民対象）

事業名・担当者連絡先(メールアドレス)	概要
こどもたちに「自分のからだ」を伝える事業 shuhei.nishiyama@mcn.ac.jp(西山)	本事業は、地域の教育・福祉に関わる機関・団体と協力連携して、小学校入学前の好奇心の強い子どもたちを対象とし、「自分のからだ」について、紙芝居や教材を用いて伝える活動です。
災害に備えよう ritsuko.shimizu@mcn.ac.jp(清水)	南海トラフ地震発生の危機が刻々と迫る今、私たち一人ひとりが危機感を持ち防災・減災対策を行うことが求められています。本事業は、本学の看護教育・研究機関としての機能を活用して、地域住民の「自助」「互助」を高め、防災の日常化を目指します。
社会的に養育が必要な子どもとその子どもを育てる家族の交流および活動支援事業 yuko.nakakita@mcn.ac.jp(中北)	本事業は、地域の関係団体等と協力・連携して、社会的養育が必要な子どもを育てる親や家族同士が交流出来る機会を提供し、同様の境遇にある子ども・親・きょうだい、家族同士の仲間づくりを支援します。この支援を通して、親や家族の養育に関する悩みの軽減、社会的養育のもとで暮らす子ども達にとっての健やかな育ちの場の支援に貢献する事業です。
健康と情報とリテラシー takako.ueda@mcn.ac.jp(上田)	リテラシーとは、ある分野に関する知識やその活用能力のことを指します。令和6年度まで「看護と情報リテラシー」の事業名で活動していましたが、令和7年度からは健康にウエイトを置いた「健康と情報とリテラシー」としてリニューアルします。夢緑祭をはじめ、みかん大で行われる行事に参加される地域の皆様を対象に、事業を展開していく予定です。
みかん大 暮らしの保健室 miho.yazaki@mcn.ac.jp(矢崎)	暮らしの保健室では、血圧・握力・骨密度などの健康チェック、看護職者による健康相談、健康講話、交流活動を行います。希望者には、足湯やハンドマッサージ等も取り入れ、地域の皆様の健康づくりとつながりづくりを支援します。年齢を問わず、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。
「認知症の人にやさしく寄り添う」ための相談・支援 ritsuko.shimizu@mcn.ac.jp(清水)	本事業では、認知症を正しく理解するとともに、認知症の人に向き合い、寄り添うケアについて考えられるように、認知症に関する講座や相談会・事例検討会を開催します。
三重地域支援団体交流事業 naoki.morishita@mcn.ac.jp(森下)	本企画は、三重県内を中心として、地域を支える活動や事業を提供しているNPOや社団法人などに交流の場を提供するものです。県内の様々な市民活動団体が直面している課題を共有し、課題解決へ向けた知見を相互に共有することを通じて、それぞれの活動をエンパワメントし、課題解決の方法を模索することを企図しています。

事業名・担当者連絡先(メールアドレス)	概要
重症障がい児家族の交流とその家族に関わる多職種連携ネットワーク構築を支援する事業 yukari.hashimoto@mcn.ac.jp(橋本)	本事業は、地域で孤立しがちな医療的ケア児とその家族の交流や医療的ケア児とその家族に関わる多職種連携ネットワークを深めていく機会を支援します。県内で重症障がい児の家族がつながり、多職種のネットワークが広がることを目的としている活動です。
僕たち私たちでも出来る！夏の危険から身を守るための基礎講座ver2 yuka.takuwa@mcn.ac.jp(多久和)	本事業は、楽しい夏休みを過ごせるよう、子どもたち自身が夏のあらゆる危険(熱中症・食中毒など)から身を守り、危険を回避し、予防できる自助の精神を育てることを目標とした活動です。多くの子どもたちが集まる学童保育施設を訪問し、子どもたちと一緒に楽しく学びを深めていきます。
年齢を重ねても元気に！夏の過ごし方講座 yuka.takuwa@mcn.ac.jp(多久和)	年齢を重ねると、暑さや体調の変化に気づきにくくなります。特に夏は、熱中症や食中毒のリスクが高まる時期です。本講座では、予防のポイントと日常でできる工夫をわかりやすくご紹介いたします。いつまでも健康に安心して夏を過ごせるようにしていきましょう。
Eco & Walk madoka.tsuji@mcn.ac.jp(辻)	Eco&Walkは、地域の環境美化と健康づくりを同時に進めるごみ拾いウォーキング活動です。歩きながら地域のごみを回収し、リサイクルへの理解を深めることで、県民の環境意識とヘルスリテラシーの向上をめざします。
シンみかん大哲学カフェ akira.abe@mcn.ac.jp(安部)	私たち人間は、その損得とは別に、純粹になにが真理であるのかを知りたい、そのような存在でもあります。だから自らの信念に疑いが生じたときには、他者を、他者との対話をもとめるのです。そうして、「問」いかげと応「答」の相互交換を重ねることで、「真理」への漸近を試みるのです。本事業の目的は、三重県下において、このような対話を提供する場のひとつとなることにあります。
Re-mamma (リマンマ) akiko.okawa@mcn.ac.jp(大川)	乳がんの治療後、お身体の調子はいかがですか？ご自身の胸の大きさに合わせたご自分の乳房パットを一緒に作りませんか？体験者の坂田さんが多くの人に届けられたらという思いで乳房パットの作り方を伝えられております。ダブルガーゼの素材で、中身は樹脂ビーズを使用しています。肌ざわりや汗の吸い取りが良く、洗濯も可能ですすぐに乾きます。乳房パッド作りを作る際、楽しくおしゃべりしながら、Re-mamma しましょう！
アートでつなぐ いのちと心のケアネットワーク idumi.doraiden@mcn.ac.jp(ドライデン)	芸術を通じて人と人をつなぎ、障がいや多様な経験を強みとして活かす共創事業です。地域住民・学生・本学教員が協働し、自己肯定感と社会参加を促し、誰もが自分らしく生きられる包摂的社会的構築や共生社会の実現を目指します。